

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リアン稲城		公表日 令和7年 12月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点・取り組み状況など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		遊ぶ部屋と工作やおやつを食べる部屋で大きく区切られているため、利用者もびのびと過ごしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	5	日によっては職員数が少なく、送迎する職員も足りていない日もある。改善として、送迎表の見直しをして円滑に送迎と児童の見守りをする職員を確保している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている	7		部屋ごとの区切りがわかりやすく、扉にも何の部屋が表示しているため、利用者も困ることなく生活できている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日、清掃や換気、消毒を行っている。また、おもちゃの消毒を行い感染症予防に努めている。活動時は、机や椅子の移動を最小限にして、広々とした部屋で活動しやすい環境を提供している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウンをしたい時や、勉強を集中したい時には個室を使用しているといいと伝えており、職員からも利用者の様子を見て、個室の利用を促している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	PDCAサイクルを利用はしていない。今後は職員用ノートを活用して、あらゆる課題に対してPDCAサイクルを利用していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者の意向や改善点を真摯に受け止めている。どのようにしたら改善につながるかも視野に入れて職員で都度話あっている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	職員で話し合う機会が昼くらいしかない。その分、職員用の連絡ノートを活用しているため、毎日職員間で連絡ノートを確認しあい業務改善に当てはまる項目については、管理者の意見を取り入れながら、職員全員でどうしていくか話し合っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	現段階では、第三者による外部評価を受けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	虐待研修などを常勤が受講して、受講した内容を法人内で研修している。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムを作成し、ホームページ内で公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	入所時にはアセスメントシートを保護者の方に記入してもらっている。その後も6ヶ月に1回は面談の機会を設けている。本人と保護者の方のニーズも取り入れたうえで個別支援計画を作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	常勤・非常勤を問わず、支援者全員が意見を出し合い、本人の最善の利益を最優先に考えた検討を行っている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	日誌の部分に支援計画の共有が行えるように、欄を作った。それに沿った支援が出来ているかの振り返りもしやすくなった。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	WISC等の検査資料を提出していただき、フォーマルなアセスメントの実施を行ったり、ご家族や職員、関係機関と日々の行動を共有し、インフォーマルなアセスメントも積み重ね、こどもの適応状況をより正確に把握できるようにしている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	地域支援、地域の連携が行えていない利用者もいるため、今後、支援内容を入れていく。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	活動プログラムの立案を1人に頼らず、職員全員の意見を取り入れて立案を行なっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	様々な種類の活動を日毎に変えている。外出イベントのみならず、市や他施設との交流イベントも設けている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	集団活動と言語聴覚士による個別活動などを組み合わせて行なっているが、放課後等デイサービス計画には、反映していない。身支度練習やプリントの時間も個別活動として設けているので、今後計画に反映していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	連絡ノートやヒヤリハットでの共有をし、個別で対応する児童や、本日の活動のシミュレーションを昼礼時に行なって支援している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	支援終了後には、非常勤の退勤の関係上、打ち合わせはできていない。常勤で気づいたことを話し合い、非常勤には、気になったこと等を連絡ノートに記入してもらい、翌日の昼礼には共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	ケア記録に記入し、支援で気になることがあれば常勤で話し合い、まとめたことを常勤に共有。共有したことで、さらに問題があれば、改善策をまとめ、周知している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6ヶ月に1回、ご家族や職員間でモニタリングを実施し、それに基づいて個別支援計画の見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	0	挨拶係や机拭き、身支度訓練などを活動に盛り込み、自立につながる支援を行ったり、安心できる場所や時間を提供している。創作も多く取り入れ、地域交流も市や他施設と交流を深めている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	決して無理強いはず、どうしたいのかを選択してもらっている。否定的な言動を選択した場合は、怒ることなく気持ちを聞いている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	学校、相談支援事業所、児童相談所、子ども家庭支援センター等々、情報共有を適宜行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	保護者の方が学校だよりの共有をしてくださっている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	直接はやっていないが、保護者様を通しては行えている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	今まで卒業生がいなかった。卒業する予定の利用者がいれば今後おこなう予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	個別ケースに応じて、地域の指導発達支援センターから助言やアドバイスを受けることがある。スーパーバイズからの助言などは受けていないため、機会があれば、設けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	公園での交流はあるが、利用される曜日によって地域のお子さんとの交流があったりなかったりしている。最近ではあるが、他の放課後等デイサービスとの交流や、お祭りに参加して地域のほかのお子さんと交流を深めている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	こども部会に積極的に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日々の様子をサービス提供記録で文章だけでなく写真も添付して共有したり、送迎時に気になったこと、出来たことなどを共有している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	ペアレント・トレーニング等、家族などの参加できる研修機会を設けられていない。職員が研修を受けて、今後取り入れていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	見学时や契約時には、パンフレット等の資料を提供し説明している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者の方には、面談を通じて意向を確認している。利用者児童にも聞ける際は日ごろの関わりの中で意思を尊重した意向を聞き取っている。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	保護者の方には、支援計画の内容を丁寧に説明したうえで同意を得たうえで支援を行っている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	電話や、面談、送迎時などで悩みをお聞きし、様々な観点から助言と支援を行なっている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	以前行ったことがある「夏祭り」をまた保護者の方をお呼びして開催できるように、今年練習として子供たちだけで夏祭りをおこなったのでまた開催できるようにしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情マニュアルに基づいて対応している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	活動予定表等の発信やブログで最近の様子も発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取り扱いや管理については、鍵のかかるロッカーにて厳重に保管している。また、個人情報にあたるもので不要なものはシュレッダーで破棄している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	伝え方によっては誤解を招くこともあると思うので、細心の注意を払ってやり取りを行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	地域住民を招待するような大規模な行事は行っていない。地域の大学の実習生の受け入れは行っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	いつでも確認できる場所に、各々のマニュアルは置いている。自然災害等が起こった際にお家に帰ることができない、などより細かい想定をしたうえの訓練も行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	リアン全体でBCPを策定している。そのマニュアルに沿って避難訓練も実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	保護者の方からの情報を元に職員間で共有している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	食物アレルギー性を持つ利用者様がいらない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画に基づいた訓練（防犯など）や研修を行なっている。保護者への説明はサービス提供記録などで行なっているが、保護者全体への説明ができていないため、今後説明していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画に基づき、家族などに周知している。特に、災害時などにお家に帰れない場合や行方不明になった時の対策について説明している。新規に利用した保護者には共有できていないところもあるため、共有していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットを全職員で確認し、再発防止策の提案をしてもらっている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	全職員が集まって研修を行った。各自でレポートを記入し提出しており、虐待防止への理解が深まった。今後も定期的に研修を行なっていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束の3要件を満たした場合、利用者が怪我のないように身体拘束を行うことを決定し、重要事項説明書にて説明をし、了解を得ている。放課後等デイサービス計画には記載していないが、やむを得ず身体拘束を行わなければならない事態の兆候があれば、保護者に再度、説明と同意を得る。	